

新年を迎えて

農林水産省横浜植物防疫所長 お の 野 ひとし 仁

平成27年の新春を迎え、皆様には新年のお慶びを申し上げます。植物防疫所の業務概要および最近の動きなどを紹介し、新年のご挨拶とさせていただきます。

植物防疫所は、横浜、名古屋、神戸、門司および那覇の5本所と16支所、45出張所、職員996人態勢（平成26年度末）で、植物の輸入に伴って海外から病害虫が侵入するのを阻止する「輸入検疫」、輸出に際して諸外国の検疫条件への適合性を検査する「輸出検疫」、国内に重要病害虫が侵入した際、早期に発見し防除するための侵入警戒調査や緊急防除、南西諸島など我が国の一部に発生しているアリモドキゾウムシやカンキツグリーニング病等の病害虫のまん延を防止する移動規制、健全な種ばれいしょの流通に資する指定種苗検疫等の「国内検疫」を実施しています。これらの業務は港、空港のほか、生産地や集荷地でも実施しています。

まず、輸入検疫については、国際植物防疫条約で講じる検疫措置には技術的正当性が求められています。このため、植物防疫所では検疫措置の技術的根拠となる病害虫リスクアナリシス（PRA: Pest Risk Analysis）を実施し、その結果に基づき、検疫措置の策定・見直しを行っています。具体的には条約で提供を求められている検疫対象病害虫のポジティブ・リスト化（検疫対象種990種、検疫対象でない種334種。平成26年8月24日現在）や輸出国での栽培地検査、所定の措置を要求する病害虫およびその措置の策定、またチチュウカイミバエ、火傷病等輸入禁止対象病害虫の発生国・地域、寄主植物の見直し等です。我が国は平成25年には約170の国・地域から延べ6,800種類ほどの植物の輸入検査実績（貨物）がありました。特に生鮮物は冷蔵コンテナや航空機の利用等により収穫後新鮮な状態で輸入され、これらに付着する病害虫は多種にわたり、態も多様、活性が高いといった特徴があります。一方、現場では検査には病害虫の侵入防止のための正確さと流通に支障が生じないようスピードが求められます。このため、遺伝子診断技術等新たに開発された検査手法の導入、発見された病害虫の検疫措置を迅速に決定するための病害虫同定手法の確立・導入を進め、効果的かつ迅速な輸入検査の実施に取り組んでいます。また、観光立国実現に向けて訪日外国人旅行者数を平成32年に向けて2,000万人を目指すといった政府の目標、LCC（Low Cost Carrier）の新規就航・

増便による海外旅行者の増加に的確に対応していくことが求められています。旅行者が植物検疫制度を知らずに植物を持ち込んで、病害虫が侵入することを防ぐため、制度を正しく理解していただくことが重要です。ホームページ、空港や港での広報、海外旅行に関するイベント等様々な機会を捉えて制度の周知を図ることとしています。

次に、輸出検疫については、平成25年には約130の国・地域に対し延べ2,700種類ほどの植物の輸出検査実績（貨物）がありました。農林水産物・食品の輸出額を平成32年に1兆円とすることを目指し、輸出検疫に関する情報提供・利便性の向上が現在求められています。農産物の輸出は、同じ品目でも輸出先国の農業事情などによって検疫条件は様々で、例えばA国には輸出できない（輸入禁止）が、B国には輸出検査を受け植物防疫所が発給する植物検疫証明書が必要、C国には輸出検査自体が不要といった具合です。このため、輸出関係者に対する説明会やホームページを通じて輸出先国の検疫条件に関する情報提供を行っていくほか、輸出者の利便性を考慮し集荷地といったより生産現場に近い場所で検査を実施する取組を充実していくこととしています。

国内検疫については、平成21年に発生が確認されたウメ輪紋ウイルス（PPV: Plum Pox Virus）について、現在東京都、大阪府および兵庫県で植物防疫法に基づく緊急防除が実施されています。引き続き、都道府県と連携して感染樹の特定や根絶確認調査の実施等を通じて本病の根絶に向けて取り組みます。

また、植物検疫業務の技術基盤となる調査研究も重要であるため、病害虫の分布・生態等の科学的情報の収集・解析、検査・検定手法や消毒技術の開発・改良、病害虫の同定・検定方法の策定等の調査研究に取り組んでいきます。近年、病害虫の同定や検定方法について都道府県などから照会や依頼があり、これは病害虫の専門知識を有する機関として植物防疫所が期待されている現れと考え、今後も要請に応じていくこととしています。

結びに、我が国の植物検疫制度は大正3年（1914年）に制定され、昨年はおかげさまで制度発足100年という大きな節目を迎えることができました。101年目を迎え、気持ちを新たにして植物検疫業務を円滑に運営していく所存ですので、引き続き関係する皆様のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。